求人情報

農研機構畜産研究部門では平成３１年４月採用予定で以下の研究職員（３名）の募集を行っています。

募集期間が短くて申し訳ないですが、ご応募をお待ちしております。

任期付の応募締切：平成３０年１１月３０日（金）１３：００必着

パーマネント締切：平成３０年１１月１５日（木）１３：００必着

応募方法の詳細は、以下の農研機構採用情報のウェブページの研究職員枠から平成31年４月１日採用任期付、パーマネント各々の募集要領をご確認下さい。

<http://www.naro.affrc.go.jp/acquisition/>

１．若手任期付研究職員（任期３年）：雄側からの繁殖性改善を担当

担当研究課題：受胎性に基づいた牛精液の能力判別技術の開発（以下の課題の一部を分担）

(1)安定した受胎率が得られる性選別精液評価法の開発

(2)低受胎精液を生産する種雄牛を早期発見するための精液評価指標の開発

勤務地：茨城県つくば市

配属先：農研機構畜産研究部門家畜育種繁殖研究領域家畜胚生産ユニット

２．若手任期付研究職員（任期３年）雌側からの繁殖性改善を担当

担当研究課題：先端技術を活用した受胎率改善につながる繁殖管理技術の開発（以下の課題の一部を分担）

(1)生物機能の活用や食のヘルスケアによる新産業創出に関連し、効率的な子畜生産を目指した子宮内環境改善技術と胚移植等の技術を組み合わせた繁殖性向上技術の開発。

(2)先端技術を活用した栄養管理法による繁殖性向上技術の開発

生殖機能(子宮環境)と栄養状態の関係を分子生物学的観点から明らかにする。受胎性を担保する子宮環境改善手法・指標の提示。

勤務地：栃木県那須塩原市

配属先：農研機構畜産研究部門草地利用研究領域放牧家畜ユニット繁殖研究グループ

３．パーマネント研究職員

担当研究課題：家禽ゲノム編集および遺伝資源保存のための新規細胞培養技術の開発（以下の課題の一部を分担）

(1)ゲノム編集家禽作出のための家禽生殖細胞培養技術の開発

(2)家禽遺伝資源の保存のための家禽iPS細胞樹立

(3)ゲノム編集用・遺伝子改変用ベクター開発

勤務地：茨城県つくば市

配属先：農研機構畜産研究部門家畜育種繁殖研究領域有用遺伝子ユニット